BOM for Windows Ver.7.0

ソフトウェア動作環境

サポートOS ※1 BOMコンポーネント

	バージョン	エディション	サービスパック/Update
マネージャー 集中監視Webサービス アーカイブコンソール 監視サービス アーカイブサービス (基本パッケージ) SNMPトラップ受信機能 ※2 BOM Backup サービス ※3	Windows 7	Professional Edition (64-bit), Enterprise Edition (64-bit), Ultimate Edition (64-bit)	SP1
	Windows Server 2008 R2 ※4	Standard Edition, Enterprise Edition, Datacenter Edition	SP1
	Windows Server 2012 ※4	Standard Edition, Datacenter Edition	Updateなし
	Windows 8.1	Pro Edition (64-bit), Enterprise Edition (64-bit)	Update1
	Windows Server 2012 R2 ※4	Standard Edition, Datacenter Edition	Update1
	Windows 10	Pro Edition (64-bit), Enterprise Edition (64-bit)	バージョン 1511以降
	Windows Server 2016 ※4	Standard Edition, Datacenter Edition	Updateなし
	Windows Storage Server 2012 ※5 ※6	(64-bit)	Updateなし
	Windows Storage Server 2012 R2 ※5 ※6	(64-bit)	Update1
	Windows Storage Server 2016 ※5 ※6	(64-bit)	Updateなし
集中監視コンソール (基本パッケージ)	Internet Explorer	10 / 11	
	Microsoft Edge	38.14393.0.0	
	Chrome	53.0.2785.143 m (64-bit)	
Oracle オプション	Oracle Database 11g	Release 2 (11.2.0) Windows x64	
	Oracle Database 12c	Release 1 (12.1.0) Windows x64	
SQL Server オプション	SQL Server 2014 (64-bit)	Express Edition, Standard Edition, Business Intelligence Edition, Enterprise Edition	SP2
	SQL Server 2016 (64-bit)	Express Edition, Standard Edition, Enterprise Edition	SPなし
Citrix XenApp オプション	Citrix XenApp	6.0 / 6.5	
	Remote Desktop Protocol	7.0 / 7.1 / 8.0 / 8.1 / 10.2	
Linux オプション	Red Hat Enterprise Linux	Ver.6.x (32-bit/64-bit) / Ver.7.1以降 (64-bit)	
	コンポーネント	OpenSSH Ver.2.3.0 以上	
		Perl Ver.5.8.0 以上	
VMware オプション	VMware ESXi	5.5 / 6.0 / 6.5	
	VMware vSphere	5.5 / 6.0 / 6.5	

※1 OSへの対応検証はサービスパック単位となっており、個別パッチ(Hotfix、QFEなど)毎の検証は行っておりません。ただし、個別パッチがBOMの動作に影響を与える場合は、弊社のWebサイトにて情報を提供いたします。
※2 Server Core へBOM SNMPサービスはインストールできません。
※3 BOM Backup サービスはWindows Server OSのみ対応しています。
※4 Server Core インストールの場合、代理監視機能によるエージェントレス監視のみサポートしております。
※5 Storage Server製品群では、BOMオプション製品は動作対象外です。
※6 Windows Storage Server は代理監視機能によるエージェントレス監視のみサポートしております。ローカル監視をご検討の場合は別途弊社テクニカルサポートへご相談下さい。
※　オプション製品導入環境の、OSとBOM for Windows の組み合わせに関しては、BOM for Windows の動作用件に準拠いたします。
※　リストに記載がないLinuxディストリビューションでは動作確認をしておりません。リストに含まれていないディストリビューションにおきましては、リストに記載されたディストリビューションで同様の現象が発生しない場合にはサポート対象外となります。
※　Linuxオプションの各コンポーネントは、最新バージョンでのご利用を推奨いたします。

サポートDB ※1 BOMアーカイブデータベース

	バージョン	エディション	サービスパック
	SQL Server 2008 (32-bit/64-bit)	Express Edition ※2, Workgroup Edition, Standard Edition, Enterprise Edition	SP4
	SQL Server 2008 R2 (32-bit/64-bit)	Express Edition ※2, Workgroup Edition, Standard Edition, Enterprise Edition	SP3
	SQL Server 2012 (32-bit/64-bit)	Express Edition ※2, Standard Edition, Business Intelligence Edition, Enterprise Edition	SP3
	SQL Server 2014 (32-bit/64-bit)	Express Edition ※2, Standard Edition, Business Intelligence Edition, Enterprise Edition	SP2
	SQL Server 2016 (32-bit/64-bit)	Express Edition ※2, Standard Edition, Enterprise Edition	SPなし

※1 各データベースが動作するOSは、それぞれのデータベースの動作用件に準拠します。BOM 7.0アーカイブデータベースは認証モードがSQL混合認証でなくてはなりません。
※2 アーカイブデータベースとしてExpress Editionを使用することができますが、一部の機能が利用できません。アーカイブ対象コンピューターが数台の小規模環境、もしくは評価環境でのご利用を推奨いたします。

	OS	サービスパック / Update	.NET Framework
Report オプション	Windows 7 各エディション	SP1	Ver.3.5 SP1 (プレインストール・要有効化)
	Windows Server 2008 R2 各エディション	SP1	
	Windows Server 2012 各エディション	Updateなし	
	Windows 8.1 各エディション	Update1	
	Windows Server 2012 R2 各エディション	Update1	
	Windows 10 各エディション	バージョン 1511以降	
	Windows Server 2016 各エディション	Updateなし	

※ レポートオプションの出力形態には、Internet Explorer で閲覧できる「MHTML形式」と Microsoft Excel で閲覧できる「Excel形式」とAcrobat Reader で閲覧できる「PDF形式」があります。

お問い合わせは

SAY Technologies セイ・テクノロジーズ株式会社

〒112-0005 東京都文京区水道一丁目12番15号 白鳥橋三笠ビル 8F
TEL：03-5803-2461　FAX：03-5803-2463

ご質問・ご相談は
製品に関する情報は
E-mail sales@say-tech.co.jp
URL http://www.say-tech.co.jp

自立分散型サーバ監視ソフト

BOM for Windows

Version 7.0

本カタログに記載されているBOM はセイ・テクノロジーズ株式会社の登録商標です。Microsoft, Windows は、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。その他会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。なお、本文および図表中では、「™(Trademark)」、「®(Registered Trademark)」は明記しておりません。

SAY Technologies

BOM for Windows Version 7.0

ビジネスの信頼性を確保する業務ソリューション

Windows Server 2016 対応

自社でサーバーを運用するにあたり、避けて通れない日々のシステム稼動チェック。
サーバーごとに異なるポイントを手順書に沿って一つ一つ行われるチェックはサーバーの台数が増えるに従って大きな負担となり、重大なミスにもつながります。
新しいBOMは、あらかじめ設定したポイントでシステムが正常に稼動していれば稼動確認メールを飛ばす、つまり正常稼動確認を行うことにこだわりました。

今日からは万全の体制でビジネス開始です!

ソリューションの特徴

システム管理者に朝の余裕を

朝監視

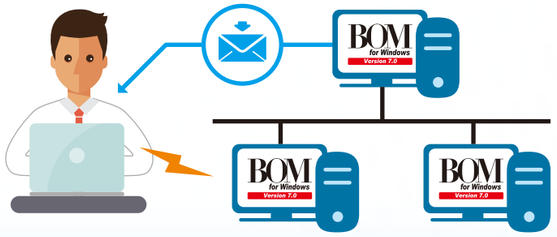
システム管理者が朝一番にしなければならないシステムチェック、「朝監視」はそれを管理者に代わって自動で実行し、結果をまとめてメールで通知します。
「朝監視」はシステム管理者に朝の貴重な時間を提供します。

朝監視概念図

安心感と拡張性の両立

国内開発/サポート　自立分散方式

BOMは日本国内で開発された純国産アプリケーションです。
マネージャーサーバーもDBサーバーも必要なく、監視対象にインストールしたBOM自身が、監視・通知・リカバリーの全てを実行するため、サーバーが増えても新しいサーバーにBOMをインストールするだけで柔軟に監視環境を拡張できます。

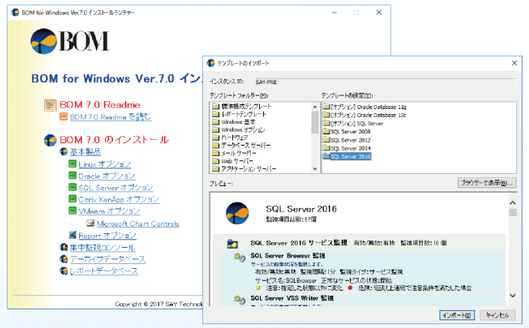


自立分散型

最短10分で監視スタート

ウィザード形式のインストーラ　豊富なテンプレート

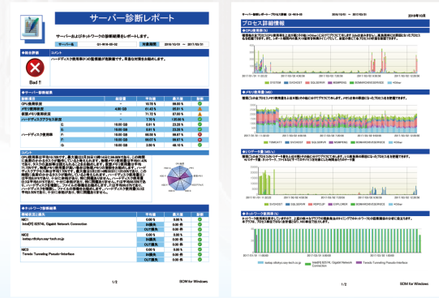
わかりやすいウィザード形式のインストーラと、豊富に用意された監視設定テンプレートを使えば、パッケージを手にしてから実際に監視を開始するまで最短10分。
思い立ったその時に、即正常稼働の確認をスタートしていただけます。



問題と課題を可視化

BOM Report オプション※

BOM Report オプションは、アーカイブサーバーに蓄積した監視データからレーダーチャートやグラフを作成するだけでなく、性能評価サマリーの作成までを自動で行います。
美しく可視化されたデータは、ビジネスを支えるシステムの信頼性を示す重要な資料となります。



※BOM Report オプションのご利用には"BOM Report オプションVer.7.0" が必要です。

幅広い監視範囲

監視項目
- レスポンス監視
- リソース監視
- サービス・プロセス監視
- ログ監視
- ハードウェア監視
- ネットワーク監視

対応範囲

- カスタム監視で、http監視などを実現
- WindowsOSのみならず、VMware、Linuxにもオプションで対応
  ミドルウェア(一部オプション)や様々なテキストログの形式に対応しており、数多くのアプリケーションの監視が可能
- イベントログ監視を通じて、ハードウェア監視ツールと連携可
- SNMPトラップ送信を使って、各種ネットワーク監視ツールと連携可能
  その他、総合運用ツールとも連携可

ソリューション化を　支える豊富な監視メニュー

リソース監視 8種類	ディスク容量監視	論理ディスクの空き容量を監視
	フォルダー・ファイル監視	フォルダー、またはファイルの容量/数量を監視
	プロセッサ監視	プロセッサ(CPU)の使用率を監視
	メモリ監視	メモリの空き容量を監視
	ディスクアクセス監視	ディスク負荷状況を監視
	ネットワークインターフェイス監視	ネットワークの負荷状況を監視
	プロセス監視	プロセスの各種パフォーマンスを監視
	パフォーマンスカウンター監視	パフォーマンスカウンターの値を監視
稼働監視 2種類	サービス監視	サービスの状態(開始/停止)を監視
	プロセスリスト監視	プロセスのホワイトリスト/ブラックリスト監視
ログ監視 3種類	イベントログ監視	イベントログを監視(除外指定/選択指定が可)
	テキストログ監視	任意のテキストログファイルの監視
	BOMヒストリー監視	監視で一旦収集したヒストリーログを監視
リモート監視 2種類	Ping監視	特定サーバーとのPing(ICMP ECHO)疎通監視
	ポート監視	特定サーバーとのTCP/UDPポート疎通監視
その他の監視 3種類	インストールソフトウェア変更監視	インストールされたソフトウェアの差分を監視
	Windows Update監視	インストールされたWindowsUpdateの適用状況を監視
	カスタム監視	任意のプログラムを実行し、実行結果を監視
リカバリーアクション	サービスコントロール	サービスの開始/停止/再起動を制御
	シャットダウン	Windowsのシャットダウン/再起動を制御
	監視有効/無効	監視グループ/監視項目の有効化/無効化を制御
	カスタムアクション	外部アプリケーションを利用した制御/通知
通知	メール送信	SMTP形式のメール通知
	SNMPトラップ送信	SNMPのトラップ送信による通知
	イベントログ書き込み	Windowsイベントログへの書き込みによる通知
	カスタム通知	外部アプリケーションを利用した通知

他にも充実の新機能

- ☑ カスタム監視設定補助機能
- ☑ ファイルサーバー監視機能
- ☑ SNMP Get 監視機能
- ☑ Windows Update 監視機能